



[指揮] 井上 道義
Michiyoshi INOUE,
Conductor

東京生まれ。桐朋学園大学にて齋藤秀雄氏に師事。1971年ミラノ・スカラ座主催グイド・カンテルリ指揮者コンクールに優勝して以来、一躍内外の注目を集め、録音をはじめ世界的な活躍を開始する。72年にはセルジュー・チエリビダック主催の講習会で1位を受賞、才能を高く評価された。76年日本フィルの定期演奏会で日本デビュー。77~82年ニュージーランド国立響首席客演指揮者、83~88年新日本フィルの音楽監督、90~95年京都市響音楽監督、常任指揮者を務めた。海外のオーケストラも多く指揮し、国内外で活躍している。90年大阪ガ・シンフォニーホール「国際音楽賞、クリスタル賞」、91年中島健蔵音楽賞、98年フランス政府より芸術文芸勲章(シュヴァリエ賞)を受賞。



オーケストラ・アンサンブル金沢
Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、音楽監督に岩城宏之氏を迎え、世界よりメンバーを募集し、国内初のプロの室内管弦楽団として結成。多くの外国人を含む40名が在籍している。2001年に開館した石川県立音楽堂を本拠地とし、金沢のはう、大阪、東京、名古屋においても定期公演を行っている。海外公演も数多く、2005年7月にはドライ・シェレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭に招請。またコンポーネン・イン・レジデンスの実施や、多くのCD制作など意欲的な活動を行い、国内外で注目されている。

ラトヴィアのリガ生まれ。2001年エリーザベト王妃国際コンクール優勝。近年ではヘルシンキ交響楽団、コペンハーゲン交響楽団、東京交響楽団、テロイト交響楽団、シンシナティ交響楽団、ベルギー国立交響楽団、ベルリン交響楽団、ゲヴァントハウス管弦楽団、フランクフルト交響楽団、フィルハーモニー管弦楽団等と共に演奏。2004年には、ソニーからデビューソロアルバムとハイドン、モーツアルト、シューベルトの協奏曲をおさめたCDを発売。使用しているヴァイオリンは、日本音楽財团から借用している1725年製のストラディヴァリウス「ウイルヘルム」。



Baliba SKRIDE, Violin

[ヴァイオリン] バイバ・スクリッド

[ピアノ] 菊池 洋子

Yoko KIKUCHI, Piano



前橋市生まれ。桐朋学園女子高等学校で学ぶ。卒業後、イタリアのイモラ音楽院に留学。97年ミラノにおいてソロ・リサイタルを行う。同年ユーベル・スダーン指揮、シチリア交響楽団のコンサートツアーソリストに抜擢され、ラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を3夜連続コンサートで演奏し、イタリアの新聞紙上で絶賛された。2000年、チエロのロッコ・フィリッピーニとベートーヴェンのソナタで共演。室内楽にも積極的に取り組んでいる。2002年、ザルツブルクで行われた第8回モーツアルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝し、贈賞目を浴びる。2003年には夏のザルツブルク音楽祭／モーツアルト・マチネに出演、大成功をおさめた。これまでに、オーケストラ・アンサンブル金沢、スロベニア放送交響楽団、ザルツブルク・モーツアルトデウム・ユニバーシティ交響楽団等、国内外の多数のオーケストラと共演。2005年オーケストラ・アンサンブル金沢との共演によるデビューコンサートCD「モーツアルト・アルバム」を発売。注目の若手ピアニストとして今後の活躍に大きな期待が集まっている。

